エピペンについて

近畿大学薬学部　中辻凜

目次

- アナフィラキシーについて
- アナフィラキシーの治療法
- エピペンについて
- アレルギーサポートアプリ
  (マイエピ)

アナフィラキシー

- アナフィラキシーは、アレルギー反応でも特に重篤な状態であり「**アレルゲンなどの侵入により複数の臓器に全身性にアレルギー症状があらわれて生命に危機を与え得る過敏反応**」と定義されている。

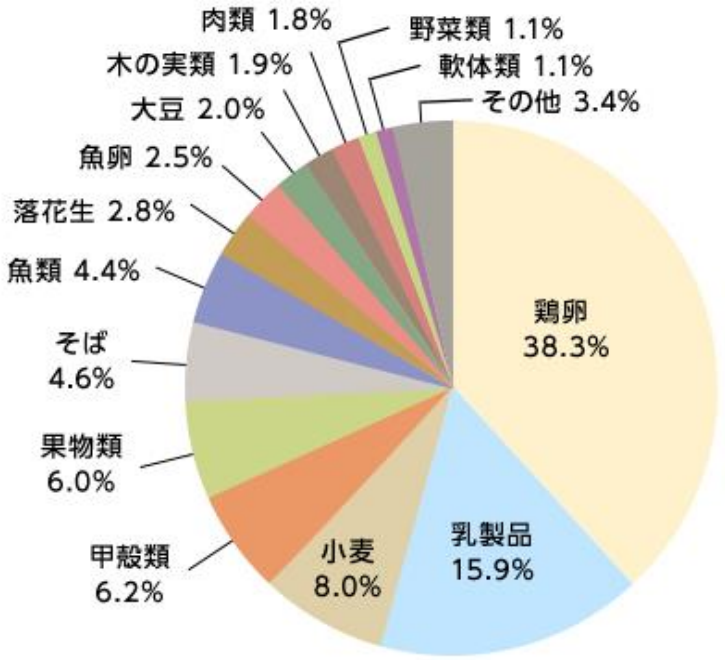
- アナフィラキシーは食物や薬剤のほか、ハチなど昆虫の毒が原因で発症。患者さんが多いのは食物アレルギーで、多くは小児であるがすべての年齢で認められる。

アナフィラキシー症状

		グレード1（軽症）	グレード2（中等症）	グレード3（重症）
皮膚・粘膜症状	紅斑・蕁麻疹・膨疹	部分的	全身性	←
	瘙痒	軽い瘙痒（自制内）	強い瘙痒（自制外）	←
	口唇、眼瞼腫脹	部分的	顔全体の腫れ	←
消化器症状	口腔内、咽頭違和感	口、のどの痒み、違和感	咽頭痛	←
	腹痛	弱い腹痛	強い腹痛（自制内）	持続する強い腹痛（自制外）
	嘔吐・下痢	嘔気、単回の嘔吐・下痢	複数回の嘔吐・下痢	繰り返す嘔吐・便失禁
呼吸器症状	咳嗽、鼻汁、鼻閉、くしゃみ	間欠的な咳嗽、鼻汁、鼻閉、くしゃみ	断続的な咳嗽	持続する強い咳き込み、犬吠様咳嗽
	喘鳴、呼吸困難	−	聴診上の喘鳴、軽い息苦しさ	明らかな喘鳴、呼吸困難、チアノーゼ、呼吸停止、$SpO_2 \leq 92\%$、締めつけられる感覚、嗄声、嚥下困難
循環器症状	脈拍、血圧	−	頻脈（＋15回/分）、血圧軽度低下*1、蒼白	不整脈、血圧低下*2、重度徐脈、心停止
神経症状	意識状態	元気がない	眠気、軽度頭痛、恐怖感	ぐったり、不穏、失禁、意識消失

*1：血圧軽度低下：1歳未満＜80 mmHg、1～10歳＜[80＋(2× 年齢) mmHg]、11歳～成人＜100 mmHg
*2：血圧低下　　：1歳未満＜70 mmHg、1～10歳＜[70＋(2×年齢) mmHg]、11歳～成人＜90 mmHg

アナフィラキシーの原因



- **食物**
- **蜂毒**
  スズメバチ・アシナガバチ
- **薬物**
  抗菌薬・造影剤・局所麻酔薬
- **ラテックス**（天然ゴム）
  天然ゴム製品
  バナナ・アボカド・キウイ

治療法

アナフィラキシーの重症度によって異なる。

蕁麻疹・痒み：抗アレルギー薬の内服

咳症状：気管支拡張薬の吸入

遅延症状：ステロイド薬

重篤な症状や急激な悪化では、**エピペン**が最優先

「エピペン」とは

医師の治療を受けるまでの間、
症状の進行を一時的に緩和しショックを防ぐ補助治療剤

▲ 携帯用ケース

▲ 製品（エピペン® 注射液）0.15mg

▲ 練習用エピペントレーナー

▲ 携帯用ケース

▲ 製品（エピペン® 注射液）0.3mg

▲ 練習用エピペントレーナー

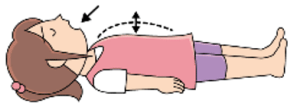
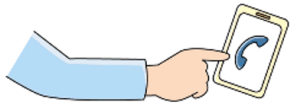
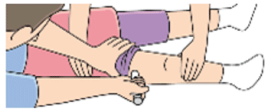
エピペンの適応

消化器の症状	・繰り返し吐き続ける	・持続する強い(がまんができない)おなかの痛み	
呼吸器の症状	・のどや胸が締め付けられる ・持続する強い咳き込み	・声がかすれる ・ゼーゼーする呼吸	・犬が吠えるような咳 ・息がしにくい
全身の症状	・唇や爪が青白い ・意識がもうろうとしている	・脈を触れにくい・不規則 ・ぐったりしている	・尿や便を漏らす

出典：「日本小児アレルギー学会」のホームページより

- できるだけ早期にエピペンを注射するとともに救急車を呼びましょう

使い方

1		全身状態のチェック：顏色、意識状態、脈拍、呼吸などを確認する
2		助けを呼ぶ：学校であれば、他の職員を呼ぶ・救急車に連絡するなど 医療機関であれば、蘇生チームなどを呼ぶ
3		アドレナリン自己注射薬が処方されている場合は使用する （医療機関であれば、アドレナリンを筋肉注射する）
4		仰向けにして足を挙上する体位にする

			医療機関での対応	医療機関ではない場合の対応
5	酸素		（呼吸状態が悪い場合） 酸素投与を行う	
6	生理的 食塩水		（血圧低下などの症状がある場合） 点滴ルートの確保 生理的食塩水の急速静注	
7	心肺蘇生		呼吸停止や心停止をきたした 場合は心肺蘇生を実施する	呼吸停止や心停止をきたした 場合は心肺蘇生を実施する
8	チェック		定期的に脈拍、呼吸、血圧、 酸素化（顏色）をチェックする	定期的に脈拍、呼吸、血圧、 酸素化（顏色）をチェックする

日本アレルギー学会 アナフィラキシーガイドライン
Simons FE,et al.: WAOJurnal 2011; 4: 13-17.
を参考に作成

使い方

(1)準備

オレンジ色の先端を下に向け、
エピペンのまん中を片手で握り、
もう片方の手で**青色**の安全キャップを
外しロック解除。

(2)注射

エピペンを太ももの前外側に垂直になるようにし、オレンジ色のニードルカバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し続ける。数秒間押し付けた後、エピペンを抜き取る。

使い方

(3)確認

注射後、**オレンジ色**のニードルカバーが伸びているかどうか確認。

(4)片付け

使用済みのエピペンは、**オレンジ色**のニードルカバー側から携帯用ケースに戻す。

使用上の注意点

- **携帯用ケース**に収めた状態で保存・携帯する。
- 自宅ではいつでも使えるように、手の届く場所に置く。
- 外出時には**必ず携帯**する。
- 注射器の窓から見える薬液が変色していたり、沈殿物が見つかったりした場合は使用せず、新しいエピペンの処方を受ける。
- **日光の当たる高温下や夏場の車内には放置しない。**
- 冷蔵庫の中などの**冷所には置かない。**

マイエピ

⑴ノート機能
症状・検査や食事などを記録
⑵ライブラリー機能
アレルギーのしくみや対処法など
正しい情報を掲載
⑶Q&A機能
アレルギーの原因や症状・治療などに関する疑問に
答える
⑷エピペンガイド機能
エピペンを処方された患者さま、もしくは使用される教職員・保育士・救急救命士の方のための音声ナビゲーション

ご静聴ありがとう
ございました